

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2006-171116(P2006-171116A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-360269(P2004-360269)

【国際特許分類】

G 0 2 B 26/12 (2006.01)

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

H 0 4 N 1/036 (2006.01)

H 0 4 N 1/113 (2006.01)

G 0 2 B 7/198 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 26/10 1 0 3

G 0 2 B 26/10 F

H 0 4 N 1/036 Z

H 0 4 N 1/04 1 0 4 A

G 0 2 B 7/18 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レーザ発光手段から射出されたレーザ光を平面状に偏向する回転偏向手段と、  
前記レーザ光を反射するミラーと、  
該ミラーを収容する筐体と、を備え、  
前記レーザ光により被走査面上を所定方向に走査する光走査装置において、  
前記ミラーを支持すると共に、前記筐体に対して前記ミラーに向かって照射されるレー  
ザ光と平行方向に移動可能に設けられる第一ミラー支持部を備え、  
該第一ミラー支持部は、前記ミラーを、前記レーザ光が前記ミラー上を走査する走査線  
と略一致する軸を回転中心として回転可能に支持する第二ミラー支持部を有することを特  
徴とする光走査装置。

【請求項 2】

前記第一ミラー支持部は、前記偏向されたレーザ光の軌跡を含む第一の平面と平行な第二の平面を構成する前記筐体に設けられた台座の台座面上に沿って移動可能に設けられて  
いることを特徴とする請求項 1 に記載の光走査装置。

【請求項 3】

前記第一ミラー支持部は、前記ミラーの両端部をそれぞれ支持する第一ミラー端部支持部材と第二ミラー端部支持部材であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の光走査装置。

【請求項 4】

前記第二ミラー支持部は、前記ミラーの反射面上の前記レーザ光が前記ミラー上を走査する位置と略一致する位置に当接する当接部であり、

前記第一ミラー支持部には、前記ミラーを当接部に付勢する付勢手段と、前記当接部を中心に前記ミラーを回動させる回動手段が設けられることを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれかの項に記載の光走査装置。

【請求項5】

前記台座面には、前記第一ミラー支持部の長穴に嵌合し前記第一ミラー支持部の移動方向を一方向に規制するボスを有することを特徴とする請求項2に記載の光走査装置。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれかの項に記載の光走査装置と、  
前記光走査装置により走査され静電潜像が形成される感光体と、  
前記感光体に形成された静電潜像を現像する現像装置と、  
を備えることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記目的を達成するために本発明に係る光走査装置にあっては、  
レーザ発光手段から射出されたレーザ光を平面状に偏向する回転偏向手段と、  
前記レーザ光を反射するミラーと、  
該ミラーを収容する筐体と、を備え、  
前記レーザ光により被走査面上を所定の方に走査する光走査装置において、  
前記ミラーを支持すると共に、前記筐体に対して前記ミラーに向かって照射されるレーザ光と平行方向に移動可能に設けられる第一ミラー支持部を備え、  
該第一ミラー支持部は、前記ミラーを、前記レーザ光が前記ミラー上を走査する走査線と略一致する軸を回転中心として回動可能に支持する第二ミラー支持部を有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】